

10月20日：資金流入が増加し8営業日続伸

ベトナム株は火曜日に午前中の下落から反発し8営業日連続の上昇を維持した。資金流入が増加し大型株を中心に上昇した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.08%高の944.42ポイントで取引を終えた。

同指数は直近7営業日で2.8%ほどの上昇をしている。

出来高が4億4430万株で売買代金にして9.2兆ドンほどであった。

189銘柄の下落に対して200銘柄が上昇した。

流動性が増加し、値上がり銘柄と値下がり銘柄数はほぼ同じということは利益確定圧力はそれほどつよくないということを示しているとBIDV証券は述べた。

我々の見方ではVN指数は940-945ポイント付近で数字は揉みあうだろうと語った。

VN30指数は0.66%高の909.49ポイントで取引を終えた。

VN30指数では17銘柄が上昇、10銘柄が下落した。

アジアコマーシャル銀行(ACB)、BIDV銀行(BID)、ベトコムバンク(VCB)、サコムバンク(STB)、軍隊銀行(MBB)、VPバンク(VPB)、テクコムバンク(TCB)などに資金が流入した。

その他の大型株では、ビンググループ(VIC)、ビンホームズ(VHM)、ビンコムリテール(VRE)、ホアファットグループ(HPG)、マッサングループ(MSN)などが上昇した。

セクターごとでは、13セクターが上昇、不動産、小売、エネルギー、銀行、ゴム、水産加工、建設資材、運輸、プラ化学などであった。

一方、12セクターは下落、保険、卸売り、証券、IT、ヘルスケア、飲食料品などであった。

ハノイ取引所のHNX指数は0.4%安の140.33ポイントで取引を終えた。

同指数は0.76%上昇の140.88ポイントで月曜日の取引を終えていた。

出来高は 4900 万株で売買代金にして 7710 億ドンであった。

外国人投資家は 9520 億ドンの売り越し、ハノイでは 60 億ドンの買い越しだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。